

第4章 住民意識調査

1. アンケート調査

(1) 一般アンケート

平成21年に実施したアンケートです。

回答率は32.1%です。

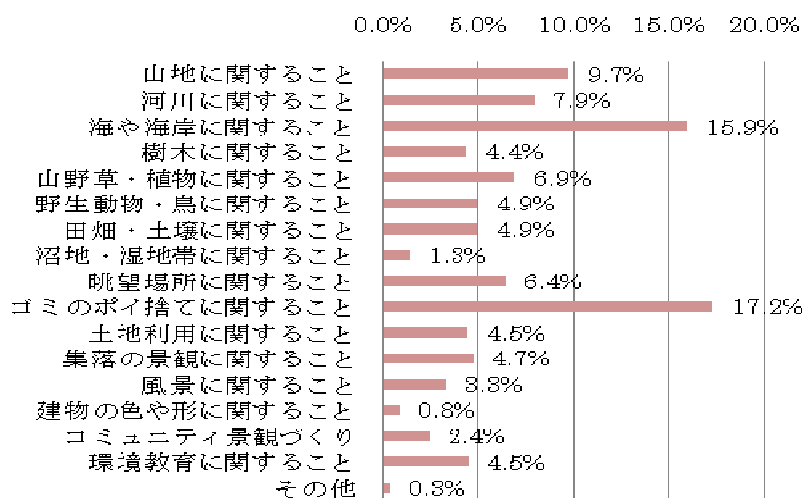
① 関心について

＊環境への関心度＊

- ＊非常に関心がある・・・25%
- ＊ある程度関心がある・・・56%
- ＊どちらでもない・・・11%
- ＊あまり関心が無い・・・5%
- ＊全く関心が無い・・・1%
- ＊未回答・・・2%

ゴミのポイ捨てを身近に感じている方が多く、次いで海と山に囲まれている環境を反映するように、海や海岸、山地や河川といった自然に関心があるようです。

＊関心のある項目＊



② ゴミのポイ捨てについて

＊ゴミの不法投棄やポイ捨ての理由＊

- ＊ゴミを捨てても構わない環境だから・・・4.4%
- ＊ゴミの分別や回収日がわからない・・・2.9%
- ＊ゴミを分別するのが面倒だから・・・13.3%
- ＊ゴミを処分するのにお金がかかるから・・・15.7%
- ＊周りに迷惑をかけるとは思わないから・・・18.4%
- ＊誰かが片付けてくれると思うから・・・15.8%
- ＊誰が捨てたかわからないから・・・27.4%
- ＊その他・・・2.0%

ゴミの不法投棄やポイ捨ては、「誰も見ていない」「迷惑がかからない」といった感覚からだと思われます。

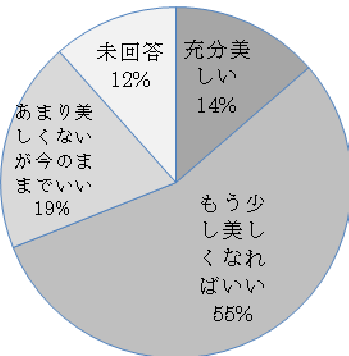
法律的に、ポイ捨て行為は軽犯罪法が適用されることから、犯罪行為防止策として取り組んでいかなければなりません。

＊ゴミの不法投棄やポイ捨てをなくす方法＊

- ＊道路沿いの雑草をなくし花を植栽する・・・25.1%
- ＊監視員が巡回する・・・12.5%
- ＊看板を設置する・・・15.2%
- ＊子どもの頃から教育する・・・29.5%
- ＊ボランティアによる呼びかけ・・・15.6%
- ＊その他・・・2.2%

③景観について

※集落景観について※



※住宅地の景観について※

- *色形の違う住宅は個性的で良い・・・15.8%
- *統一された住宅が並ぶときれい・・・16.8%
- *花を植栽している住宅はきれいだ・・・36.7%
- *垣根がある住宅が並ぶと情緒を感じる・・・24.4%
- *特に何も思わない・・・5.5%
- *その他・・・0.9%

※景観づくりについて※

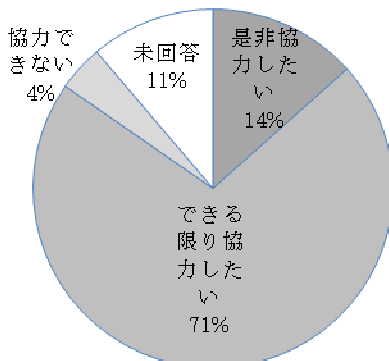
- *花樹木等の栽培に協力したい・・・43.1%
- *花樹木等の栽培に協力したくない・・・7.9%
- *ある程度の住宅基準を設け共感を持たせる・・・20.2%
- *住宅基準を設けても共感は得られない・・・25.4%
- *その他・・・3.4%

集落環境は、もう少し美しくなればよいと思っている方が過半数を超えています。

住宅の形状等は統一感と個性的の意見が拮抗しているものの、花壇・垣根がある住宅については、共感を得ているようです。

③ボランティア等について

※協力意識について※



※ボランティア活動について※

- *植樹祭に参加したことがある・・・18.7%
- *地区のゴミ拾いや植栽に参加している・・・51.4%
- *ボランティアにあまり参加したくない・・・6.1%
- *地区の活動以外にも参加したい・・・17.9%
- *個人的に環境に取り組んでいる・・・5.9%

環境について、ボランティアでの協力をしたいと思う方が、85%と非常に高くなっています。

人足（相互協力）という東通村の文化が息づいているものと思われます。

④保全・眺望・後世に残したい場所や風景

(自然環境)

- ・尻屋崎、物見崎
- ・猿ヶ森砂丘、砂浜
- ・海、海岸、磯
- ・河川、水棲生物（ホタル、川カニ、魚類）
- ・水芭蕉、野花菖蒲、ニッコウキスゲ
- ・高山植物、ツツジ、山野草
- ・山菜、キノコ
- ・寒立馬
- ・野牛沼、加藤沢沼
- ・鳥獣（渡り鳥、熊、カモシカ、猛禽類など）

(眺望地点)

- ・尻屋崎、灯台
- ・物見崎、灯台
- ・桑畑山
- ・片崎山
- ・蒲野沢大台
- ・小田野沢そで山
- ・砂丘（砂浜含む）
- ・牧場
- ・海、海岸

(懐かしさや後世に残したい場所)

- ・物見崎、白糠灯台の裏の岩礁
- ・尻屋灯台と寒立馬
- ・旧校舎
- ・田園風景
- ・神社、お寺
- ・埋没林
- ・いさり火
- ・老木（ケヤキ、銀杏、スギ）
- ・砂丘、鳴き砂
- ・湖沼群
- ・遠足で行った山（わん台、大台、桑畑山）

(2) 小中学生アンケート

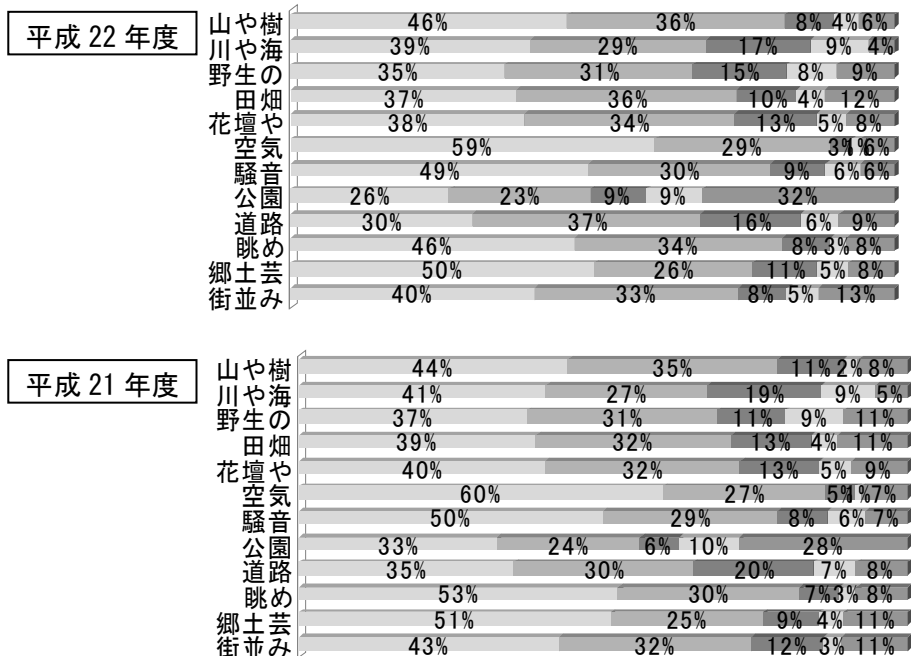
平成21・22年に実施したアンケートです。

①周辺の環境の満足度

公園に若干の不満を抱いているようですが、他の項目については、ほぼ半数以上満足しているようです。

周辺の環境の満足度

■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

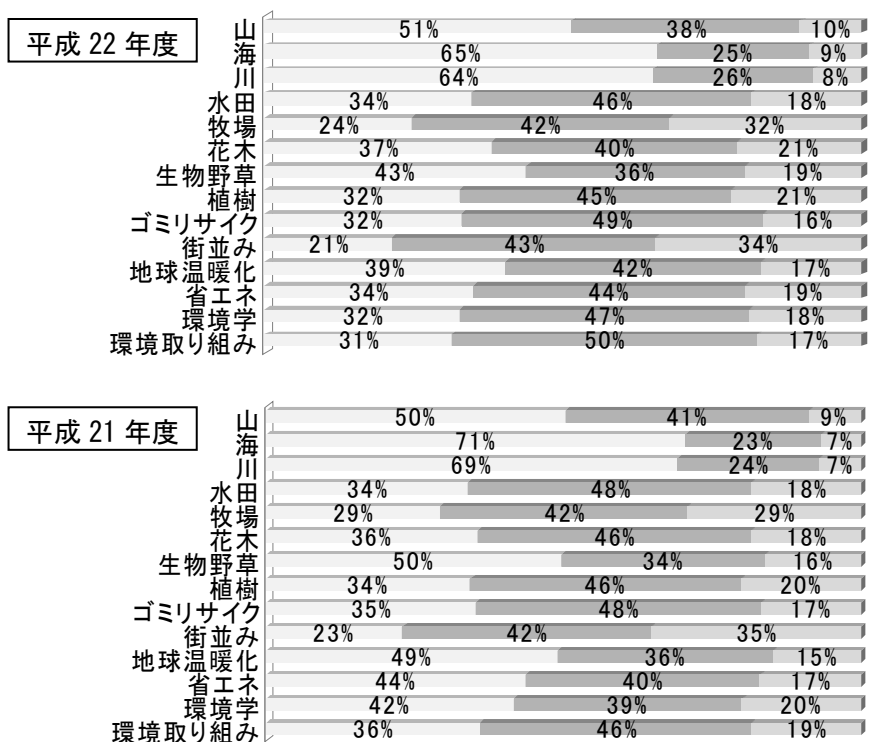


②環境に興味・関心あること

関心は山と海、川となっています。東通村の豊かな自然に対し、関心があるようです。

環境に関する興味・関心のあること

■ 関心あり ■ 少しあり ■ 関心なし



2. ワークショップ

(1) 村の風景の良いところ悪いところ

○村の良い風景とは

- ・ただ綺麗なだけでなく、ほっとする風景
- ・道路わきの水芭蕉
- ・いさり火
- ・物見崎から見る村の風景
- ・役場周辺の近代的な感じ。
- ・牧畜の風景。
- ・祭りの風景。
- ・木造の小学校。
- ・田んぼのある風景。
- ・尻屋崎と寒立馬。
- ・馬、牛のいる風景
- ・緑が多い。
- ・電線の地中化（ひとみの里）。
- ・道路沿いの花。
- ・海、夕日の見える風景（岩屋の夕日はキレイ）。
- ・尻労の砂丘。

○村の悪い風景とは

- ・物見崎の黒松が大きくなって岩肌が見えなくなった。ツツジが盗掘された。
- ・道路脇のゴミ。
- ・白糖の家並みは綺麗とは言えない。
- ・廃校、廃屋
- ・原発の鉄塔。
- ・伐採された後のハゲ山。
- ・尻屋崎、国道、県道のゴミ。
- ・学校の形に調和がとれていない違和感。
- ・雑草（空地、グラウンド、道路）
- ・海岸（発泡スチロール、漁師たちのゴミ）。

○どうすれば良い風景を残せるか

- ・物見崎に観光客が来やすいように都合のいいように整備されすぎてはいけない。
- ・子どもが村に帰ってくるように子どもの頃から村への誇りをうえつける（まつり、行事、環境、経済を良くする）。
- ・電力で村の良いところ発見してPRしてくれている。一緒に力をあわせよう。

- ・後継者の育成。
- ・ホームページの活性化。
- ・宣伝、アピールしながら保護。
- ・廃校は映画のロケ地などに有効活用する。
- ・農業、漁業体験で産業アピールする。
- ・農畜産・漁業の継続と発展。

○どうすれば良い風景になるか。

- ・種を配って道路、集落に花を植える。
- ・漁業を盛んにする。
- ・海をコンクリートで固めない（海産物が採れるように）。
- ・道路を使ってウォーキングイベントを開催。
- ・荒地をなくしてゴミを減らす。
- ・人口を増やして空地の利用を活性化する。
- ・ゴミを棄てないよう呼びかける。
- ・各地区のゴミ拾いを活動活性化。
- ・廃校舎の利用（リサーチ、ネットなどで公募）
- ・集落ごとの景観コンテスト。ガーデニングなど。



(2) 村の自然の保守と活用

○村はどんな自然環境にありますか

- ・小田野沢の袖山から陸奥湾、太平洋が望める。
- ・野牛の片崎山も同様。
- ・絶滅寸前の山野草がある（ノハナショウブ、エビネ、シュンラン）。
- ・山野草が少なくなった。
- ・川に生物がいなくなった（ウナギ、エビ、カジカ）
- ・海まで通っていない川が多くなった。(沼地で終わる、ダムによる寸断)
- ・老部川の水量が少なくなった。
- ・老部川に鮎が遡上しなくなった。
- ・太平洋岸の砂丘と湖沼群。
- ・寺社周辺の風景。
- ・水芭蕉の風景。
- ・ゴミが道路に多すぎる。
- ・集落内の川の景観が整備されていない。
- ・どこに行ってもスギの人工林。
- ・村の木（イチイ）が少ない。
- ・風車と鉄塔が景観を壊している。
- ・昔あったもの・・・川には、イトウ、サンショウウオ、ヤツメウナギ、カニ、イワナ、カワセミ、サケ、山菜、アイヌネギ、センブリ、ボウフウ、海産物、コンブ、動物、カッコウ、ウグイス、キツネ、農作物、アワ、ヒエ

○どうやって保全・保護するのか

- ・山野草の植樹。
- ・小田野沢の2河川の整備。
- ・道路の両側に花を植える。
- ・山林の間伐を推奨する。
- ・川のダムをなくす、又は魚道を作る。
- ・木の切り出しを昔のように冬に行なう（夏場にやることにより山が壊れる）
- ・海、川に通じるため山の整備が必要（昔の山にするには300年かかる。）
- ・太平洋砂丘、湖沼、水芭蕉群、寺社等とネットワーク化した観光開発（自然公園）
- ・水源涵養し、年間を通じて人々のレクリエーションの場ともなっている広葉樹林を村で借り上げる。
- ・補助金を出してスギ林を広葉樹林に移行する。
- ・定期的にゴミを回収。ゴミの啓蒙活動。
- ・地域のことは地域でやる。
- ・行政とタイアップする。

○どのように活用できるのか

- ・海では海草、野では山菜、山では山野草とPRし、村のイメージアップをする。
- ・トントウビレッジをもっと整備（泊原発のプール）し、観光客を受け入れ、山野草を植栽し、保護とPRによる村のイメージアップを図る。
- ・自然公園として活用する。
- ・村で借り上げた山林をレクリエーションの場として広く開放する。
- ・スギ林の広葉樹化で海を豊かにする。
- ・活用できる段階ではなく、問題点を抽出し、対策を講じる。



(3) 村の理想の景観とは

○現在（昔）はどんな景観ですか

- ・茅葺屋根。
- ・鉄塔、電柱、送電線。
- ・ゴミ拾いに費用がかかる。
- ・道路にゴミが多い。
- ・浚渫した砂山。
- ・牧場の風景（開放的ではない）。
- ・資質の高い自然景観。
- ・屋根、壁の色。
- ・使われていない旧校舎。
- ・B級グルメ的風景。
- ・花を植えている家が多い。
- ・道路に歩道がない。
- ・看板（集落名、施設）が不統一。
- ・海－砂浜がなくなった。海、砂浜がきたない。
- ・山－手入れがなされていない。風車が目立ってきた。送電線による鉄塔が増えて目立つ。
- ・動植物－ホテルが見られない。タヌキ、キツネ、ウサギが車に轢かれて死んでいるのが多く見られる。スズメバチの巣が増えた。川のエビ、魚、カニが少なくなった。
- ・道路－道路が増え整備されている。カーブが多い。立ち入り禁止柵が多い。
- ・建物－古い建物と新しい建物の差が大きい。デザインがまばらになっている。
- ・集落－茅葺屋根がなくなった。若い人がいない。廃校がそのままになっている。下水道が整備されてきた。

○理想の景観とはどういうものなのか

- ・景観にマッチした色合い
- ・歴史ドラマを感じる景観。
- ・癒しの景観。
- ・B級景観100選。
- ・ヤマセの逆利用。
- ・人との関わりを感じる景観。
- ・景観発信基地をつくる。
- ・部落内に歩道を作ってほしい。
- ・統一した看板にしてほしい。
- ・村全体、各集落で花の整備コンクールなどで取り組んでほしい
- ・廃屋、廃校舎をうまく活用できるようにしてほしい。
- ・安全柵や橋等周囲に合わせてほしい。

- ・海－水も砂浜もきれいに。ゴミをなくする。海水の浸食を防ぐ。
- ・山－自然林（広葉樹）の多いほうが良い。ゴミの少ない山。送電線、鉄塔が目立たないように。
- ・動植物－ホテルが生きられる環境を。オオハングンソウの駆除
- ・道路－カーブをなくする。広くする。歩道を整備する。
- ・建物－デザインを統一する。
- ・集落－子どもや老人が遊んでいる景観。各集落でゴミ拾いなどする。廃校を活用する。

（４）集落環境の今と未来

○現在、集落の生活環境はどうですか

- ・公衆用トイレがない。
- ・生活必需品を揃えるのが大変。
- ・統合によって学校が廃校となっている。
- ・年寄りが多くなってきている。
- ・若者がいなくなっている。
- ・春先の堆肥の臭いが臭い。
- ・桑原、砂子又地区は上下水道が通って便利。
- ・休耕地が放置されたまま。
- ・沿道の草刈とかはマメにやっている。
- ・地区に小学校、中学校がなくなって寂れてきた。
- ・年寄りが暮らしにくい。(店がない、交通が不便、バス賃高いが交通量は少ない、子ども達に頼むしかない。今の年寄りは施設に入りたいがらない。)
- ・子ども達の生活環境の悪さ（インターネット、携帯電話の電波がない、遊ぶところが整備されていない）。
- ・尻屋崎の観光地の利用状況の問題（もったいない環境となっている。）
- ・自給自足の生活ができていない。(漁師は良いが農業は昔のやり方の伝達がきちんとできていない。)
- ・畑のハウス等が汚い（見た目が悪い。)

○このままだと未来はどんな生活環境になっているのか

- ・若者が都会に流れてしまい、ますます高齢化が進む。
- ・観光客が減ってしまう。
- ・老朽化が進み大変危険。
- ・子どもが少なくなって、ねぶた運行（子ども会）が困難。
- ・下水道整備すれば生活費の負担が大きくなる。
- ・集落内の横のつながり、まとまりがなくなる。
- ・田園風景が台無し。
- ・集落内で知らない人が増えてくる。
- ・スギの間伐材振興がかなり弱くなっている。
- ・人足ができなくなる。
- ・若者が流出する（村に人がいなくなる。)
- ・仕事がない。
- ・住み続けたいと思う人がいなくなる。

○どんな未来に向けて今どうするべきか

- ・今ある商店の人達が集まって一つのスーパーを作る。
- ・観光客が利用しやすい環境作り。
- ・集会施設が避難場所にもなっているので維持管理が必要。
- ・雇用の場を創って若者を増やす。
- ・農業、林業等一次産業の振興
- ・産直施設の整備。
- ・生活をしていける働く場所の整備（特に農地の整備）
- ・セメント工場とか日鉄等に頼らない（これからは原発でも働けるよう教育）
- ・人が集まる観光作り（尻屋の有効な活用、店トイレ等を整備）
- ・東通の特産物が牛がメインなので、もっと農作物にも（そば等）付加価値。
- ・親子で住める環境作りのため、仕事ができる環境を。
- ・漁・農を発展させるためにも消費してくれる場の整備（観光地）
- ・ハウス等、汚い所は個人でどうしようもできなくなってしまったところなので、団手で手伝ってきれいにしていく（消防団、青年団等）
- ・仕事・農業・漁業 → 観光地で売る